



# 第 1262 回例会報告

【3月は識字率向上月間】

平成 24年3月15日(木) 晴

## 会長挨拶

会長 三村昌暉

### あれから1年 東日本大震災

平成23年3月11日、今から1年前、未曾有の大地震と津波が東日本を襲い、経験したことのない大災害をもたらしました。最近明らかになってきた政府や東京電力の原発事故を含めた対応等に怒りと失望を覚えた国民も数多い事と思います。国の対応に、やりきれない思いを抱く被災者の声を聞くにつれ、やがて確実に訪れる、東海地震の諏訪地方への被害予想に不安にならざるを得ません。

東日本大震災の規模などから、東海、東南海、南海が連動する可能性も高く、その地震規模と被害状況は東日本大震災を上回ることも予測されるようになりました。

予測される被害の参考になる直近の出来事は、1944年(昭和19年)12月7日に起こった紀伊半島南東沖を震源として発生した「東南海地震」であります。甲府市と諏訪盆地は震源地から遠く離れているにもかかわらず震度6以上であったと言われています。

以前、例会にお招きして卓話をいただいた、東南海地震体験者の会代表、飯田悦司氏は、「当時建造物が無かった軟弱地帯に住宅地や商業地区、工場などが広がっており、被害も大きくなる。一番心配するのは、下水道の普及により、下水管が液状化で地表に出れば、予測するだけでも恐ろしいことになる」と述べられました。また、地震防災対策強化地域判定会会長を勤められ2010年の1月4日に故人になられた溝上恵(みぞうえ・めぐみ)東大名誉教授は、東南海地震よりも東海地震のほうが震源が近く、三領域が連動すれば超巨大地震にな

る事も予測される為、「震源から離れていても、諏訪湖周辺は、硬い地盤に囲まれた軟弱地帯で出来ており、揺れが増幅され甚大な被害が出る」と判定し強化地域に指定いたしました。東日本大震災や阪神・淡路大震災は人事ではありません。我々は危険な断層に囲まれて生活してもいるのです。大地震に対する覚悟と準備が必要です。

先日、ボーイスカウト下諏訪1団の団委員長の木下さんと前団委員長の村上さんが訪問され、「大変御世話になったが3月末をもって休団することになった。諏訪湖ロータリー・クラブの皆さんには大変御世話になった、宜しくお伝え下さい」とのことでした。54年前にスカウトの一員であった私にとっても大変残念であります。スカウトサインは三つの誓いを表す3本の指ですが、標語は「そなえよつねに」であります。まさに予測される大地震の被害に対し、「そなえよつねに」であると思います。

<p>■ニコニコ BOX</p> <p>20名 21,000円          累計 906,000円          目標額 130万円          達成率 69.6%</p> <p>■今週のことば</p> <p>小学校の卒業式に行ってきました。「お別れの歌」「巣立ちの歌」感動的でした。機会があったら参加しましょう。          長崎政直</p>	<p>■出席報告</p> <p>会員数 33名          出席対象 33名          出席者数 24名          出席率 72.7%          前回修正 81.8%</p> <p>■次回のプログラム</p> <p>3月29日 休会          4月5日 会員卓話          クラブ会報・雑誌広報委員会</p>
---	---



## ◇幹事報告◇

## 【報告事項】

①長野県・栄村から、3/12大地震に義援金をお送りしたことに對する災害支援のお礼文書等が郵送されてきました。更なる義援金をお願いします。

## 【連絡事項】

①3/22、理事会前の10:00から、下中・林先生を招いて「セブの子供に音楽を」のセブ支援の現況報告および今後についてを協議致します。関係者および関心のある会員はご出席下さい。

②マクタン小学校生徒による、ピアノ演奏風景DVDを作成しますので、会員はこぞって購入して下さい。売上金は全額ニコニコBOXに献金します。

## 【受領文書】

ウィクリー 諏訪RC 岡谷RC

## 第 1262 回例会 会員卓話

## クラブ会報・雑誌広報委員会

情報入手の新しい一方法

御子柴文夫クラブ会報委員



東日本大震災後一年間が経過しました。遅々として進まない復興にいらだつと共に 今後も予測される災害への備えを考慮しなければなりません。

どのような備えが必要か思案したとき 今までは書物等で知識を得ました。

しかし 書物等以外に利用できる他の方法があります。

最近の会合に iPadやノートパソコンを持参する人がおります。記録を入力するだけでなく疑問内容を調べて知識を得る道具としているようです。インターネットにつないで同時進行で知識を得ていま

す。効率よく幅広く検証しながら情報を得ています。公式発表を鵜呑みにするだけでなく 内容を再検討しながら判断するための道具として利用しているようです。

その一端を例会の場でインターネットにつないで少々覗いてみます。

① 索ソフトに放射能汚染報道のベクレル・シーベルトなどを入力すれば説明するホームページが開き 強さと量の関係等知識を得ることができます。その中で対処方法を自己責任で判断できます。

② 福島原子力発電所の現在の状況をリアルタイムで見られることも 適当な用語を入力してホームページを探せば可能です。海外まで広げて検索すれば更に詳細な情報を得ることができます。

③ 下諏訪町が震災復興支援に協力している南三陸町があります。ヤフーマップで地図情報を得られます。航空写真を見られることもできます。詳しく景観を見たいならグーグルアースがあります。鳥観風景として見れます。

④ 東日本大震災後 地域災害危険度の公開が急速に進んでおります。市町村で確認できないときは 国土交通省ハザードマップポータルサイトで閲覧できます。自宅の土砂災害・洪水災害の危険度を知ることができます。危険度情報を得れば対処方法も見えてきます。

⑤ 公開された情報をつなぐことで 公式発表以上の情報を得ることが可能な時代です。人生を経て豊富な経験を得た私達です。風評に惑わされないよう情報確認の道具としてインターネットの利用も考えてみませんか。

⑥ インターネット入門については河西会員(すてっぷカサイ)に相談されることをお勧めします。

要望が多かったので、文字を大きくしてみました。どうでしょうか。

個人的には、小さい文字の方が体裁が良いように感じます。ただホームページでも小さな文字がはやりですが読みづらいのは確かです。